

平成 23 年 3 月 25 日
愛 媛 県

大気中の塵からの放射性ヨウ素の検出について

愛媛県では、東京電力㈱福島第一原子力発電所で発生した原子力災害を受けて、モニタリングを強化し監視を行っていますが、大気中の塵からごく微量の放射性ヨウ素（I - 131）を検出しましたので、お知らせします。

検出された濃度は、ごく微量であり、法令上の周辺監視区域外の空气中濃度限度の約 2 万 5 千分の 1 であり、人体への影響はない。

なお、現在のところ連続測定を行っている放射線測定等他の項目に異常は認められていません。

1 採取場所、検出された核種の種類及び濃度

採取場所	種 類	濃 度
県原子力センター	ヨウ素 - 131	0.21 ミリベクレル / m ³

伊方発電所の測定値：0.09 ミリベクレル / m³

（3月20日 10：00～24日 10：15の平均値）

法令上の周辺監視区域外の空气中濃度限度：5,000 ミリベクレル / m³

2 採取期間

県原子力センター（八幡浜市保内町） 3月23日 15：00～24日 15：00

3 過去の愛媛県内でのヨウ素の検出実績

昭和55年11月に、2回、塵の分析で中国の核実験の影響によるヨウ素 - 131が検出されている。

採取年月日	場所	測定値
昭和55年11月21日	西宇和郡伊方町	0.067 ミリベクレル / m ³
昭和55年11月27日	松山市	0.070 ミリベクレル / m ³

4 伊方発電所の放出状況

排気筒モニタに異常値は確認されていない。